



## 地域概要

十日町市の北東部、標高300mの魚沼丘陵上にあり、棚田までは十日町駅から車で約20～30分。

2004年の中越地震の後、6戸まで減り廃村の危機に追い込まれたが、地域おこし活動を通じて都会からの移住者を迎え限界集落を脱した。



## 棚田活動

- ・NPO法人地域おこしが集落住民から田んぼを引き継ぎ、令和6年は7.59haを耕作。
- ・棚田オーナー制度「山清水米 みんなの棚田」を行い、農作業イベント等で地域外の方と交流をしている。



棚田の草刈り



棚田オーナーとの稲刈り

## 特産品の紹介

集落で栽培した魚沼産コシヒカリを「山清水米」と命名。自ネットショップでの販売、ふるさと納税の返礼品、卸等で年間売上38トン（R5年産米見込）全量特別栽培米認証。



山清水米 白米3kg 2,330円



農薬・化学肥料不使用「山清水米」はざ架け米（白米）5kg 6,780円

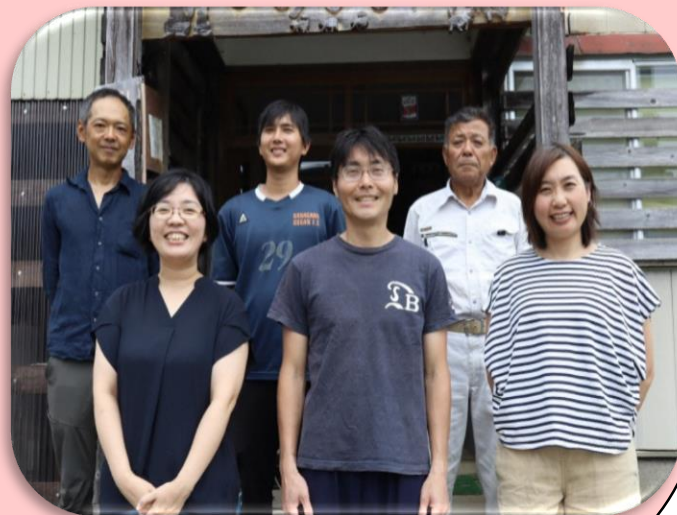


## 棚田関係団体の紹介、活動実績

- 2005年
- ・十日町市地域おこし実行委員会（任意団体）結成
  - ・池谷分校を体験交流施設として整備開始援農ボランティアを受入開始
- 2006年 「山清水米」販売開始
- 2009年 集落唯一の空き家を改修
- 2010年
- ・3人家族が移住（地域おこし協力隊）
  - ・中越地震以来支援いただいたJENから自立
- 2012年
- ・NPO法人認証。「NPO法人十日町市地域おこし実行委員会」に。
  - ・平成23年度地域づくり総務大臣表彰受賞
  - ・あしたのまち・くらしづくり活動賞内閣官房長官賞受賞
- 2014年 NPO法人農業参入
- 2015年
- ・農業後継者育成住宅「めぶき」完成
  - ・地域再生大賞特別賞受賞
- 2016年 NPO法人が認定農家になる
- 2017年 法人名変更。「NPO法人地域おこし」に。
- 2018年
- ・棚田オーナー制度「山清水米みんなの棚田」開始
  - ・書籍「奇跡の集落：廃村寸前『限界集落』からの再生」出版
- 2023年 北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰 受賞  
棚田学会賞 受賞



農業後継者育成住宅「めぶき」



NPO職員集合写真

## 今後の目標

・池谷・入山集落の農地を今後も引き継ぎ、山清水米の直販を伸ばして、若い世代が子育てしながら生計を立てれる収入を得られるよう、経済的に持続可能な棚田保全を目指します。

・私たちの持続可能な集落モデルを作る取組みが全国の過疎地に広がること、また都市部に安心・安全な食料や棚田での体験を提供することで、日本全体を持続可能な社会にすることを目指します。

NPO法人地域おこしHP  
<http://www.iketani.org/>



池谷集落住民、NPO職員集合写真



## 地域概要

本地域は十日町市の東部に位置しており、毎年「田毎の月観月会」を実施。多くのボランティアの協力が保全管理、地域活性化、伝統文化の伝承に繋がっている。「田毎の月コシヒカリ」の販売もスタート。



## 棚田活動

棚田みらい応援団、棚田サポーターによる環境整備作業により「水、棚田、田毎の月」を守り続けている。



観月道整備作用



水源地取水作業

## 特産品の紹介

「田毎の月コシヒカリ」としてブランド化。新潟県ない関東地区生協に年間12トンを出荷している、お土産用に子袋にて販売もスタート。



生協年間登録米



お土産品として販売

### 【活動実績】

平成24年5月 中越地震以降途絶えていた観月会を遊歩道改修と共に再開。

平成25年～令和2年 棚田みらい応援団による田植え、稲刈りボラ（県内企業、学生）延べ約700名。現在コロナのため休止。令和4年、5年は環境整備作業（参加者50名）、本年6月観月会には学生5名が運営スタッフとして活躍。

平成26年～令和5年 棚田サポーターによる草刈り作業を7月と8月に実施（県内企業参加者延べ300名）

平成26年 田毎の月を守る会を結成（集落民、通い農業者、集落出身者）観月会の運営を行っている。

令和3年3月 北陸農政局多面的機能支払部門で表彰 三ツ山地域資源保全会

令和3年～5年 北陸農政局若手職員との勉強会を実施。WSやWEB会議、三ツ山の現状把握のため水源取水、遊歩道整備等を行った。

令和4年3月 つなぐ棚田遺産に選定



田植えボラとの集合写真



遊歩道草刈り作業

### 今後の目標

三ツ山集落3世帯6名、通い農業者8名で水路、水源、棚田、田毎の月を守り続けるには限界を感じている。集落・棚田の魅力を発信し多くの来訪者から興味を持ってもらい、一人でも多くの協力者を増やしていきたい。農家民宿「茅や屋」のジビエ料理も大きな魅力。農業の担い手確保や地域の盛り上げりに起因するよう、取り組んでいきたい。

三ツ山の情報はfacebook田毎の月を守る会で発信中



三ツ山の風景



## 枯木又の棚田（所在地：新潟県十日町市中条）

## つなぐ棚田遺産 PRシート①

### 地域概要

枯木又地域は十日町市の南部に位置しており、棚田までは、十日町駅から車で約30分で到着。南魚沼市との郡境にあります。

「枯木又エコ・ミュージアムの会」を都市住民と作り農業体験伝統行事を通じて交流を行っている。



### 棚田活動

「ほたる祭り」として、棚田で見れるホタルを鑑賞し、昔から盛んだった俳句会を開催し交流をしています。



ホタル祭りの料理



そば打ち体験

### 特産品の紹介

バージンウォーターで作った無農薬の「古代米」や棚田米から作った米粉で作った笹団子やちまきなどの加工品を販売



古代米黒米 350円/100g



地元産ササ、米粉で作った「笹団子」  
800円/5個



## 棚田関係団体の紹介、活動実績

枯木又の棚田に関わる団体は4団体

### 【活動実績】（年間行事）

5月4日 エコ・ミュージアムの会  
総会と講演会  
参加人数約30人

6月～9月 棚田草刈り作業（地区外の人たちと3回ほど実施）  
参加人数15～20人

7月第1土曜日 ホタル祭り  
（県外からも参加有り）  
参加人数15人

11月第1日曜日 収穫祭  
参加人数30人

11月第3日曜日 新そばの会  
そば打ち体験に  
約20人の参加

1月15日前後（小正月）  
伝統行事の鳥追い・どんど焼き  
参加人数 25人  
3月第2日曜日 わら細工講習会  
参加人数 12人



草刈り前の集合写真



生き物調査

## 今後の目標

ちまき作り体験・棚田ラン・もみ殻燐炭  
つくり体験・棚田の生き物調査など棚田  
を通じた体験や交流により、棚田の魅力  
を知ってもらい。  
農業の担い手確保や移住者の受け入れ等  
に積極的に取り組んでいきたい。



農業は「芸術」